

令和2年12月教育委員会定例会会議録

令和2年12月25日 開催

静岡市教育委員会

令和2年12月静岡市教育委員会定例会次第

1 日時

令和2年12月25日（金） 午後2時

2 場所

静岡市役所 清水庁舎 3階 第1会議室

3 日程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指定

(3) 教育長の報告

(4) 報告

報告第4号 静岡市立小学校及び中学校の通学区域の変更に関する諮問について

(5) 閉会

令和2年12月教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和2年12月25日(金) 午後2時 開会

2 場 所 静岡市役所 清水庁舎 3階 第1会議室

3 出席者 教育委員 教育長 赤堀 文宣 委 員 松村 龍夫
委 員 佐野 嘉則 委 員 杉山 節雄
委 員 川村 美智 委 員 藤田 三佐子

教育委員会事務局

教育局長

仁藤 治

教育局次長

甲 猛志

教育調整監

南 雅司

教育総務課長

西島 弘道

学校教育課 特別支援教育センター担当課長

渡邊 俊夫

児童生徒支援課長

栗田 保孝

教育総務課課長補佐兼総務係長

海野 祥吾

教育総務課主任主事

山梨 乃莉子

4 日 程

(1) 開会

赤堀教育長 ただ今から、令和2年12月教育委員会定例会を開会します。

(2) 会議録署名人の指定

赤堀教育長 本日の会議録署名人を杉山委員に指定

(3) 教育長の報告

赤堀教育長 資料「12月定例会 教育長報告」により報告
ここで、11月から12月に行った行事等について、参加された委員より御意見、御感想がありましたら報告をお願いしたいと思います。

佐野委員 いくつかの学校を拝見させていただいて、森下小学校では外国につながる子どもたち、清水小島小学校では外国語教育、静岡聖光学院では先進的な遠隔教育のようなものを勉強させていただきました。静岡聖光学院は富士市や掛川市などから通学されている生徒さんがいらっしゃって、通学に時間がかかる子どもにとっては、体調が悪いときには出席しにくいということもあると思うので、非常に有効だと思いました。しかし、どの程度体調が悪いのかということこれから先生が見極めていかなければならない、そういう意味では先生の人間力や生徒とのつながりをこれからどうやって醸成していくのか、難しい点があるのかなと感じました。いろいろな手法で、新しい教育のスタイルが入ってくると、先生に求められる資質や能力が変わってくるところがあって、そういったところの変化への対応が先生方も努力が必要になってくるのかなと思います。ただ、有効なことは確かに有効だな、ということでもとても勉強になりました。ありがとうございました。

藤田委員 11月24日に服織中学校のダンス授業を視察させていただいたお話をさせていただきます。1年生の3クラスで約90名が参加して、体育館の中央にテレビモニター、壁面にプロジェクターが2面あって、テレビモニターとプロジェクターの1つにEXPG STUDIO所属のU-GEさんというインストラクターの方、もう1つはDVDでEXILE ÜSAさんとEXILE TETSUYAさんのダンスを映すという形でした。最初にダンスを見たときはすごく難しく感じてみんな固まってしまって「僕たちにできるのだろうか。」という感じがあったんですけども、約30

分のダンスの指導の際に、U-GE さんが、「動きの1つ1つに意味があって、これは静岡の波をイメージしています。」とか「桜エビだよ、サッカーだよ。」など1つ1つ丁寧に教えて下さったので、ほとんどの子が30分後にはできるようになっていました。前向きにポジティブな気持ちで踊ると良いよという精神面を教えてくださいました。

人数が多く、会場が大きかったので少しプロジェクターが見にくいかなというのは思いましたけれども、成功という形だったと思います。コロナの脅威が去ったときには実際に指導に来ていただいて、インストラクターさんの雰囲気なども味わえるといいなあと思いました。

川村委員

いくつかICTを活用した授業を見せていただいた中で、静岡聖光学院が「世界につながろう、静岡を飛び出そう」というようなとても意欲的なことをおっしゃっていて、実践されていると思うのですが、ほかの小学校でのICT教育と比べた時に、対照的だと感じる点がありました。例えば南部小学校では子どもたち同士の学び合いを機器を使って促進していくという面があったのに対して、静岡聖光学院では学年が中学・高校ということもあるかもしれませんが、使い方が一方通行という印象を受け、クラスの中のグループダイナミクスみたいなものがどうなのかなと少し気になりました。小学生の段階では、ICT機器を使いつつも子どもたち同士と一緒に協力してなにかを作るとか、そういう風に上手に使っていくことが大事なのではと思いました。

また、今回の視察を通して、現場の先生たちはすごく頑張っているなという印象を抱きました。ありがとうございました。

杉山委員

清水小島小学校と清水有度第二小学校に行ってきました。該当校の校長先生・教頭先生は我々が視察に行くときに本当に大変だなあというのが第一の感想です。当日のスケジュールからすべて先生の都合を我々に合わせて視察をやらなきゃならないという、これが現場にとって負担にならないかなあというのが1つ感じたところです。

もう1つは、清水有度第二小学校の特別支援学級の関係です。特別支援学級の3年生と通常学級の3年生の授業を見たけれども、寸分も変わらないような同じ授業をやっていて、子どもたちも理解しているんですね。わたしは最初、特別支援学級の授業は少しレベルが違う内容なのかなと思ったのですが、全く変わらないような授業を受けて、それをこなしていたということは、やはりこれはすごく価値のあることだと思っております。

また、ICT機器が導入されても、アプリを自由にダウンロードできないという現場の声についても一考する価値はあるのかなと思いました。

それと、8人の児童を2人の先生で見ている、お伺いしたときは3年生と1年生を1人の先生が、5年生と6年生を1人の先生が見るという体制だったのですが、少し3年生に力を置きすぎていて、1年生がその時間は自習授業のようなことになってしまっていたので、もう少し手を入れてあげられる時間があればいいかなと思いました。

赤堀教育長 ありがとうございます。森下小学校と静岡聖光学院の視察につきまして、実態を確認したその結果を次の新たな取り組みにつなげるということも考えておまして、そちらについては定例会のあとの協議会の場で皆様に御報告をさせていただきたいと思っております。

(4) 報告

赤堀教育長 それでは、これから議事に入ります。お手元の資料「会議の流れ」を御覧ください。本日は、報告1件です。公開で行います。

<報告第4号 静岡市立小学校及び中学校の通学区域の変更に関する諮問について>

児童生徒支援課長 資料に基づき説明

赤堀教育長 ただいまの説明について、御意見・御質問等ありましたらお願いいたします。

佐野委員 該当する児童生徒にとっては通学区が近づくということは嬉しいことで、便利になっていいのかなと思います。基本的なことを聞いて恐縮ですが、基本的には該当する児童生徒の保護者等から要望があつてこういう変更をかけていくということによろしいのかということが1点と、新設されると学校としてなにか対応が必要になってくると思うのですが、どんな対応が必要になるかということをお聞かせいただけますか。

学校教育課
特別支援教育
センター担当課長 1点目についてですが、新設をするときには7月に校長先生からお申し出をいただくのですが、その段階ですでに保護者からの強い要望があるということが前提となっております。

教育局次長 2点目の御質問に関してですが、特別支援学級の新設に伴って法定のクラス数が増えますので、教員は自動的に算定されて配置させていただきます。そしてそれを前提とした教員採用をさせていただいております。教室に関しては、基本的には余裕教室のある学校というのが

前提となっておりますが、いくつか改造が必要となる場合もございます。今回の新設に際しては、来年度当初予算に計上し、予算上の仕組みを使って本年度のうちに工事を始めても良いという仕組みにして、4月からその教室が使えるようにという対応をしています。

佐野委員 わかりました。ありがとうございます。

赤堀教育長 それ以外になにか御意見等ありますでしょうか。

各 委 員 質問・意見なし

赤堀教育長 それでは、この件については以上とします。

(5) 閉会

赤堀教育長 以上で、令和2年12月教育委員会定例会を閉会します。

午後2時20分